

令和2年度 さいたま市立馬宮中学校 学校関係者評価書

さいたま市立馬宮中学校

学校関係者評価委員長 岩崎 まさみ 印

1 学校関係者評価の実施体制

- (1) 構成人数 10人
- (2) 実施回数 3回

2 学校関係者評価（学校関係者評価委員の意見等）

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策のため、学校の教育活動が大きく制限される中、評価アンケートの結果が昨年度と比較しても大差なく、我々が思っている以上に、子どもたちは我慢強く頑張ったと思う。
- (2) 学校評価の結果を見て、生徒とその保護者の間に認識の差がありそうで気になる。約95%の生徒が学校生活は楽しいと回答しているのに対し、保護者の評価アンケートへの回答率が約60%と、各家庭の学校教育や地域事業への関心と協力意欲の低さが課題であると感じている。
- (3) 学校評価より、先生方の働き方改革があまり進んでいないことが読み取れる。実際、先生方の人数が足りているのか心配である。
- (4) 新型コロナウイルス感染症対策のため、学校の教育活動が大きく制限される中、馬宮中学校の評価は年々よくなっているようであり、素晴らしい。その中で、先生方の働き方改革と生徒の学力の定着に関する項目について評価の低さが目立つので、本年度に引き続き、その点を課題として取組みを進めてほしい。
- (5) 「学校安全」特に施設・設備に関する評価の中で、改善を求める意見があるようです。

学校関係者評価を受けた学校の対応

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策継続下での家庭・地域との連携
 - ① 感染予防の徹底を図りながら、学校公開を推進する方策の模索
 - ② 学校からの情報発信の方策の工夫
- (2) 働き方改革の推進
 - ① 働き方改革の保護者への啓発
 - ② 部活動と地域行事の効果的な連携の工夫
- (3) 「わかる授業」への工夫と基礎学力の向上
 - ① 授業規律の徹底と基礎学力の向上にむけた授業づくり
 - ② ICTの活用を基にした授業実践の継続

さいたま市立馬宮中学校長 山田 尚弘

